

## CT 検査についての説明書

氏 名 \_\_\_\_\_ 様

検査日時		
------	--	--

検査予約時間の 30 分前までに、1 階総合受付へおいで下さい。

- ◎ 妊娠している方、またその可能性のある方は、事前にお申し出下さい。
  
- ◎ ペースメーカー・植込み型除細動器を装着されている方は CT 検査により誤作動を起こす恐れがあります。検査前に担当者にお申し出下さい。
  - ・ 検査当日はペースメーカー/ICD 手帳をお持ちください。
  
- ◎ 検査前の準備
  - ・ 頭部・頸部の検査の方はヘアピン、アクセサリ、義歯、補聴器を検査前に外して頂きます。
  - ・ 胸部・腹部・骨盤部の検査の方はアクセサリ、エレキバン、カイロ等を検査前に外して頂きます。ブラジャー、ボディスーツ、ズボン等の金属類の付いた服は脱いで頂きます。詳細は担当者にご確認下さい。
  
- ◎ 検査後
  - ・ 他に検査が無い場合、食事は普通にお取り下さい。
  
- ◎ キャンセル等について
  - ・ キャンセル時は診療科にご連絡ください。
  - ・ 予約時間に遅れると、待ち時間が発生する場合があります。

# CT検査を受けられる方へ

## CT検査とは

CT検査ではX線を多方向から人体に照射し、体内を透過したX線を測定して、体の輪切りの画像を作ります。装置の寝台に仰向けに寝ていただき、寝台を移動させながら撮影します。胸部や腹部の撮影では息を止めて撮影を行います。検査に要する時間は5-20分です。CT検査にはヨード造影剤を使用しない「単純CT検査」と、ヨード造影剤を静脈から注入する「造影CT検査」があります。検査を受けられる方で以下に該当する方は、診察を受けた医師または検査担当者にお伝えください。

- ・ 妊娠中または妊娠の可能性がある
- ・ 検査を受ける部位に体内電子機器がある（誤作動するおそれがあります）

例：心臓ペースメーカー、植込み型除細動器（ICD）、両室ペーシング機能付き植込み型除細動器（CRT-D）、脊髄刺激装置、深部脳刺激装置

## CT検査による放射線被ばくについて

CT検査ではX線を使用しますので、放射線被ばくによる発がんのリスクの増加が考えられます。発がんのリスクは低線量でもきわめてわずかに増加すると考えられており、線量が高くなるにつれてリスクの増加も大きくなります。そのため、リスクの増加よりも診療のための有益性の方が大きいと考えられる場合にのみ、CT検査を受けていただきます。

当院では、診療上必要性が高い部位だけを、必要最低限の回数に限り撮影することになっています。また、照射するX線の線量を管理し、線量の過多に関連する撮影装置に設定する撮影線量の適正化に努めております。

検査項目別の放射線被ばく線量の参考値を以下に例示します。当院における標準的な線量の推定値を実効線量（単位：ミリシーベルト（mSv））で表しており、実際の線量は体格や検査方法で増減します。

	実効線量（mSv）		実効線量（mSv）
自然放射線（年間）	2.1	腹骨盤部ダイナミックCT	8.0
胸部X線撮影（2方向）	0.06	頸-骨盤部CTA	14.5
腹部X線撮影（立位・臥位）	0.28	冠動脈CTA	4~12
腰椎X線撮影（4方向）	0.58	骨シンチ	4
頭部CT単純	2.0	脳血流シンチ	6
胸部CT単純	1.8	心筋シンチ	10
胸部CT単純（低線量撮影）	0.6	FDG PET/CT	8
腹部CT造影	3.0	頸椎CT（低線量撮影）	1.1
胸-骨盤部CT	4~6	胸椎CT（低線量撮影）	1.9
肝ダイナミックCT	9.0	腰椎CT（低線量撮影）	2.5

当院での検査は最新の装置を用い、日本国内での平均的な線量と同等かそれ以下の線量で、撮影を行っております。